



Information

「ニコン Z 50」が「デジタルカメラグランプリ 2020」総合金賞を受賞

2019年10月31日



総合金賞

Z 50



株式会社ニコン(社長:馬立稔和、東京都港区)の「ニコン Z マウント」を採用した APS-C サイズ(ニコン DX フォーマット)ミラーレスカメラ「ニコン Z 50」が、「デジタルカメラグランプリ 2020」において、最高位となる総合金賞<ミラーレス>を受賞しました。

「デジタルカメラグランプリ」とは、メーカーからエントリーされたデジタルカメラやフォトアクセサリを対象に、写真を“撮る”だけにとどめず“愉しむ”ための優れた製品を選出するデジタルイメージング機器の総合アワードです。年に2回開催され、今回で24回目となります。

「Z 50」が今回受賞した「総合金賞」は、各部門賞を受賞した製品の中から最も優秀であると評価された製品を、写真家・評論家・販売店からなる審査委員による厳正な審査によって選ぶ賞です。

「デジタルカメラグランプリ 2020」の受賞結果は以下 URL よりご確認ください。

URL: <https://www.phileweb.com/news/d-camera/201910/31/760.html>

「Z 50」の選考理由

-デジタルカメラグランプリ 審査委員長 山田久美夫氏のコメント-

現在、フルサイズミラーレスカメラが大きな話題を集めていますが、一方で、画質や性能、レンズを含めたサイズや価格などを総じて考慮した際、バランスのよさが際立つ APS-C ミラーレスカメラも見逃せない存在です。そんな APS-C ミラーレスカメラに真正面から取り組んだのが、この「Z 50」。ニコンの新世代システム「ニコン Z マウントシステム」第2弾となる、待望の APS-C ミラーレスカメラです。スペック的に派手な部分はないものの、実際に触

れると、EVF の見え味、シャッターのフィーリングなど、感性的な部分の心地よさは格別。手頃な価格設定も含め、さすがニコンと唸られる、ニコンの真摯さを感じさせるモデルです。

「Z 50」の主な特長

- ・小型・軽量ボディで高い描写力と多彩な表現力を実現しながら、使いやすさを追求
- ・有効画素数 2088 万画素、DX フォーマットカメラ初の像面位相差 AF 画素搭載の CMOS センサーと画像処理エンジン「EXPEED 6」の採用により、常用感度 ISO100～51200^{*}の広い常用感度域でノイズの少ない高画質を実現
- ・「ミドルレンジシャープ」や「Creative Picture Control」などの搭載により、「ニコン Z7」(2018 年 9 月発売)「ニコン Z6」(2018 年 11 月発売)と同等の画づくりが可能。
- ・タッチ操作可能な 3.2 型約 104 万ドットのチルト式画像モニターは、スマートフォンと同様の感覚で使えるタッチキーを搭載
- ・「SnapBridge」アプリを使って撮影した静止画・動画をすぐに SNS で共有可能

※動画撮影時は最高 ISO 25600。

すべての受賞製品はフリーマガジン「デジタルカメラグランプリ受賞製品お買い物ガイド」に掲載され、販売店などで配布されます。

この件に関する問い合わせ先

株式会社ニコンイメージングジャパン 広報宣伝部
108-6290 東京都港区港南2-15-3 品川インターシティ C棟

大塚・馬橋
03-6718-3016

株式会社ニコンイメージングジャパンPR事務局

ビルコム株式会社 担当:星・福田

TEL:03-5413-2411/FAX:03-5413-2412/Mail:nikon-press@bil.jp
